

若いなかま

若いなかま No.204

2019 (平成31)年 3月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号
吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail: net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ: http://www.fayd.jp/



写真提供：オールスポーツコミュニティ

目次

表紙 福岡県民さわやかマラソン	1
特集：子どもの貧困問題への取り組み	2
ーすべての子ども達に希望を！学習支援に	3
取り組む「NPO法人 いるかねっと」	3
福岡県民さわやかマラソン	4

乳幼児教育研修会	5
地域の話 題 (古賀市)	6
「家庭の日」「オアシス運動」作品表彰式、諸連絡	
(公社)福岡県青少年育成県民会議賛助会員のご紹介	7
「青少年育成 考」、その他	8

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)



学習の様子

「NPO 法人いるかねっと」活動紹介

●目的・理念

自治会・こども会・行政・地元の大学・保護者・住民・地元企業等と連携して、子どもたち・町を支えた高齢者・町を支える大人たちが誇りになる町を作りをめざしています。

●活動内容

- ◆小中学生を対象に、無料学習会「マナビバ」を開設しています。
- ◆こども食堂「キッズカフェ・タベルバ」を運営しています。
- ◆一回 100 円で、高齢者のゴミ出しなどの家事の支援をする「ワンコインサービス」を行っています。
- ◆地域の交流スペース「いるかサロン」を無料開放しています。
- ◆災害ボランティア派遣や物資支援を行っています。

●問い合わせ・支援申し込み

NPO 法人いるかねっと

〒819-0054 福岡県福岡市西区上山門
1 丁目 3-27
TEL 092-407-8760
MAIL: npo-irukanet@wonder.ocn.ne.jp

【生徒の声】

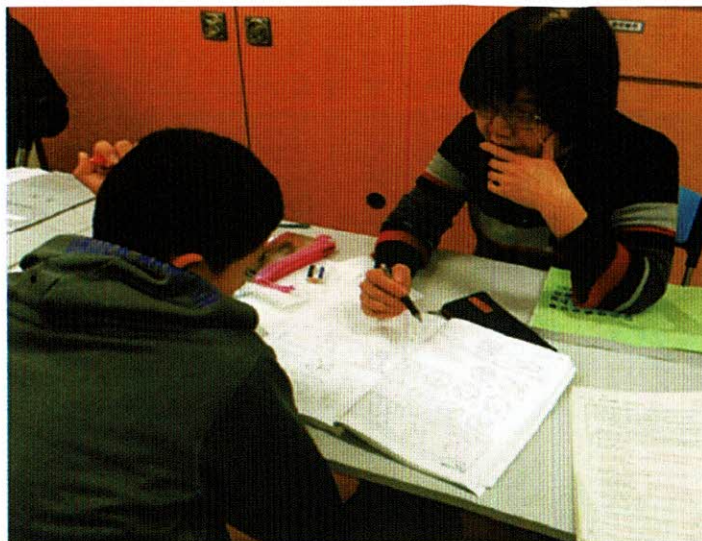
中学3年生 女子

学校の紹介で来た。ピリピリしているのかと思ったが、分らないところをいろいろ気軽に聞ける雰囲気でもよかったです。自分のペースで勉強できました。高校に合格して嬉しかったです。母が喜んでくれましたね。スタッフのみなさんに感謝しています。高校に入ってもしっかり勉強して、大学は薬学部に行って薬剤師になりたいです。

【教室マネージャーの声】

大学4年生 女性

教育学部なので、学んだことを生かしたいと思って、スタッフに応募しました。教える立場でも、学ぶことが多いので、子どもたちにとっても、私にとってもいい場所だと思えます。勉強以外のことも、気軽に話せるように心がけています。



TENJIN 16 SKYHALL 天神スカイホール

福岡・天神の多目的ホールとして「心からのおもてなし」を提供いたします。
講演会、シンポジウム、研修会、各種パーティー、同窓会、記念行事など
幅広くご利用いただけます。お気軽にご相談下さい。



開 会 式



今年の参加者は2、192人。会場は子ども達などで大変にぎわいました。毎年学校全員で参加している東住吉小学校の野崎杏汰君と浦本未来さんの元気な

このマラソン大会は今年で18回目を迎えました。未就学児から高齢者まで幅広い年齢層の方々が気軽に参加できるように、家族ペアを含めて29種目を設けています。当日は天候にも恵まれ、参加者は元気いっぱい、さわやかな笑顔で海浜公園内の特設コースを駆け抜けました。

2018 第18回

福岡県民 さわやかマラソン大会

とき..平成30年11月25日(日)

ところ..海の中道海浜公園



選手宣誓。今大会のゲストランナー、九州電力ラグビーチーム「キューデングヴォルテクス」の元選手3名の皆さんによる準備運動。また、福岡県

の広報部長を務めるマスコットキャラクターのエコトンも準備運動に参加しました。

ちびっ子達のガンバリ



小学生未満を対象とした家族ペア0.5kmの種目には138組の家族ペアが参加しました。最年少参加者は2歳でした。元気に駆け出す子もいれば、マイペースで歩く子もいたり、ほほえましい光景が広がっていました。「後、少しよ!」「頑張っ!」家族の方々の大きな声援も印象的でした。

家族と一緒に

1km・2kmの家族ペアも行わ



「お父さんは、もう、バテバテに引張って!」等々、子ども達が一緒に走る方も必死のようでした。子ども達の中には将来のアスリートを目指すような意気込みで頑張っている子もいました。

日頃の成果、目標達成を求めて!



小学生部門・5km・10km部門とそれぞれの思いを胸に元気にスタート。それぞれが入賞めざし、また、自らの目標達成にむけて頑張りました。入賞やタイムの更新等、目標達成された皆さんおめでとうございます。

います。そして、お疲れ様でした。

小学生以下及び、家族ペアの種目別入賞者

- ▼0.5km家族ペア①妹川広・勇雅②百田耕助・建水③山本真芳・愛斗(小学3年以下)
- ▼1km家族ペア①長合川匡章・涼乃②杉村忠宣・愛友香③新地孝善・健人(小学1年)
- ▼小学3年①藤田真一・紗英②大場伸亮・尊道③鹿毛尚史・莉空(小学4年)
- ▼小学4年①小学6年
- ▼小学1年①大武葉月②浅川遥輝③金城知希
- ▼小学2年①垣原結愛②立石茉愛③久保田智世
- ▼小学3年①新留大馳②山川憲祐③黒木珀
- ▼小学4年①西岡真愛②高場世菜③末松凜安心
- ▼小学5年①佐藤壮真②村上聡③東直輝(女子)①立石結菜②上川紗来③倉掛心優
- ▼2km小学4年①近藤優羽②松浦慧大③井形優斗
- ▼女子①山口心翠②中村梨央③加藤美海
- ▼小学5年①山元幹太②増永颯人③八尋脩磨(女子)①原田綾夏②外村愛月③岸本華愛
- ▼小学6年①岩尾春②佐藤有悟③藤本晴空(女子)①永島心音②永沼妃織③渊上彩代

大きな銀行より、
大好きな銀行に
なりたい。



この街で ぐいっしょに
福岡中央銀行

平成30年度 「乳幼児教育研修会」開催
とき・平成31年2月6日(水) ところ・都久志会館



毎年この時期に行われている本研修会

は子どもの成長における乳幼児期の子育ての重要性和、地域で実施する親子教室を支援することを目的として開催されている。今回は親子教室事業、3年目のみやま市青少年育成市民会議・みやま市幼児教育研究会が実践発表した。また基調講演として九州大学大学院農学研究院助教・佐藤剛史氏が講演された。

◇主催者挨拶◇



(公社)福岡県青少年育成市民会議家庭部会長 杉原 敏子

乳幼児期は周りの環境や保護者などからの働きかけという外的な刺激を受けて思考や感覚が急速に発達していく時期であります。この大切な時期にどう関わってあげたいのか？

0歳児からの乳幼児期に「大人ができることは何か？」親子教室事業や各市町村が行っている子育て支援事業を通して何かヒントになるものを見出していたらいいと思います。と開催の意義を説明、挨拶されました。

みやま市親子教室

「親子で学ぼう楽しい子育て」

発表・社会教育課 白坂 優衣氏



表した。

みやま市の親子教室は合併前の瀬高町でスタートし今年で35年目を迎える。本事業3年目の集大成を映像を使いながら発表

★方針・豊かな心と生きる力の基礎づくりを身に付けるため親づくりと子育て支援を目標に年間13回の学習計画。**知恵や知識**を学び、子育てに取り入れる。

★実施期間・6月から11月まで13回(8月は除く)

★参加対象・0歳児〜3歳児の親子

★参加費・親子1組 800円

子ども2人の場合は1000円

★定員・15組(今年は13組)

途中での参加受付はないが、公開講座が年4回あり会員以外のだれでも参加できる。今年6月に2回、9月10月にそれぞれ1回、小児科医や図書館主査、メディア関係など各分野の専門家を招き乳幼児教育に及ぼす影響などを学習し子育て

てに取り入れている。

サブテーマ「乳幼児の不思議な能力を知る」ではまず、乳幼児の特質を伝える。特質とは乳幼児期には二つの武器 ①生命のエネルギーと②環境を吸収するエネルギー、すなわちパターン認識能力である。(身の回りで繰り返されることを吸収する能力) 礼儀・社会性・習慣や生活のリズム・音感・芸術性・感性を引き出すことができる能力。このような知識を基に今年度は*知識を伝える講座*体験講座*移動講座を企画。とても好評であった。3月〜4月にはスタッフ会議を開き会員や出席者のアンケートをもとに振り返りや新企画を考えている。

★課題・親子教室の効果的な普及活動
・スタッフの育成拡大

★発表の後、会場から多くの質疑応答があり、活発な意見交換がなされた。



基調講演

「食卓の力」

子どもの心もはぐくむ食」



作家・食育研究者
九州大学大学院
農学研究院助教
佐藤 剛史氏

タイトルが示しているように講師の一番の主張は、「食事(食卓)は人が人として生きていく一番大事な要素である」と。人が他の霊長類

と違う点が二つある。一つはご飯を一緒に食べる。(分け合って食べる)二つ目は共同で子育てをする。(集落の中の規範を設け共に子育てをしてきた進化の歴史)また、食事は単に身体を育てるだけではなく心も育てる大切な役割を果たしている。凶悪少年犯罪と食育の因果関係は大きい。親に食事を作ってもらい食するという習慣の乏しさが非行に繋がっている。また非行少年の多くが「一人で食事をする・家族で鍋を囲むことはない・外で食事する」というのが大きな特徴である。まさに「荒れた食事が心を荒らす」である。(著書より)例え、親がいなくても信頼できる人の温かい手料理、安心できる食卓を囲めば、心が安定し、心の土台が育っていく。「買った弁当ではなく愛情のこもった温かい食事と食卓が心も体も育んでいく」と食育の大切さを力説された。



熱心に聞き入る100名近い参加者。佐藤講師の軽快な語り口が聴衆を魅了。実例や研究の成果をわかり易く、ユーモアも交え講演。心打つ名言も数多く、実話には涙ぐむ人も。改めて**食育の大切さ**を認識させられた。

地域の話



平成30年7月7日(土)
古賀市リーパスプラザ交流館
で開催された「少年・少女の
主張大会」の様子

少年・少女の主張作文発表会とスポーツを通じた青少年育成講演会開催
古賀市青少年育成市民会議

古賀市青少年市民会議では、毎年7月に家庭・地域・学校・行政が一体となり、青少年育成に取り組む一環として健全育成大会を開催しています。平成30年度には7月7日(土)古賀市リーパスプラザ交流館で「少年・少女の主張」作文を3名の中学生が発表し、講演会参加者に大きな感動を与えました。又、講演会では福岡県非行防止・ネット依存防止地域ミーティングより派遣して頂いたNPO法人 SFD21 JAPAN理事長の小野本道治講師より実際に活動されている「アームレスリング」を通じた非行少年・少女との関わり等を含めとして『いい加減』が『良い加減』く失敗だらけの子育てから学んだこと』を演題に、ユニークで感動の講演をしていただきました。

平成30年度「家庭の日」「オアシス運動」最優秀・優秀作品の表彰式
日時：平成31年1月14日(祝・日) 場所：アクロス福岡コミュニケーションエリア

作文部門

作文部門で表彰された皆様
中央左が最優秀賞の
金昌生さん



ポスター部門

ポスター部門で表彰された皆様
中央左が最優秀賞の
二村柚綺さん



最優秀賞にはポスター部門では遠賀町立遠賀中学校2年生の二村柚綺さん、作文部門では福岡市立香椎第一中学校3年生の金昌生さんが選ばれました。またアクロス福岡のコミュニケーションエリアにおいて、平成31年1月14日から20日の期間、ポスターの部・作文の部の最優秀作品と優秀作品の展示を行いました。(ポスター・作文の最優秀作品は県民会議のホームページをご覧ください)

- 1 掲載する記事は「青少年健全育成」「社会貢献」等を中心とする取り組み。
- 2 記事の字数は300字程度、活動の様子が分かる写真1枚必要
- 3 記事の掲載は7月・11月・3月の発行月に近い号に掲載
- 4 記事を送る場合は、メールFAX、郵送でも可能(但し、写真はメールか郵送)
- 5 送り先：〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎内6F
☎：092-643-6001 FAX：092-643-6003
メール：tanaka.m.1803@diary.ocn.ne.jp

このほど広報部会では、あらゆる場所で行われている青少年健全育成や社会貢献を広く紹介すると共にさらに、県民の方が身近に感じる広報紙の内容にすることにしました。つきましては全ての賛助会員の方々からの広報紙「若いなかま」に掲載する記事を募集します。

賛助会員へのお知らせとお願い

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

福岡銀行



平成30年度 (公社)福岡県青少年育成県民会議へ賛助いただいた会員の御紹介

平成 31 年 3 月 1 日現在 (敬称略: 50 音別)

次の世代を担う青少年の健全育成活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。心から御礼を申し上げます。

特別賛助会員の皆様

(株) ア キ ラ 水 産	西 部 ガ ス (株)	福 岡 県 信 用 保 証 協 会
(株) ア サ ヒ 緑 健	(株) 筑 邦 銀 行	(公社) 福岡県宅地建物取引業協会
エントリーサービスプロモーション(株)	(株) 西 日 本 シ テ ィ 銀 行	福 岡 県 町 村 会 会
九 州 電 力 (株)	(株) 西 日 本 新 聞 エ ス ピ ー セ ン タ ー	福 岡 県 公 認 ボ ウ リ ン グ 場 協 会
九 州 旅 客 鉄 道 (株)	西 日 本 鉄 道 (株)	(株) 福 岡 中 央 銀 行
(株) 九 電 工	日 本 食 品 (株)	(株) ふ く や
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	日 本 た ば こ 産 業 (株)	ポ ン ウ ェ イ (株)
J A バ ン ク 福 岡	(株) 福 岡 銀 行	

団体賛助会員の皆様

(株) あ ら い	(医) 高 邦 会 高 木 病 院	(株) ヒ ロ カ ネ
(NPO) 飯塚市青少年健全育成会連絡協議会	公立学校共済組合福岡宿泊所	福 岡 国 際 空 港 (株)
石 橋 印 刷 (株)	小竹町御徳工業団地企業連絡協議会	福 岡 県 私 学 協 会
(株) 石 村 萬 盛 堂	(株) 三 広	(社) 福岡県私立幼稚園振興協会
糸田町自由ヶ丘老人クラブ黨会	(医) 三 裕 会 拾 六 町 病 院	福 岡 県 商 工 会 連 合 会
岩 崎 建 設 (株)	新日鐵住金(株)八幡製鐵所	福 岡 県 地 域 婦 人 会 連 絡 協 議 会
岩 本 明 子 英 会 話 教 室	(NPO) 次世代のチカラ FUKUOKA	福 岡 県 農 業 協 同 組 合 中 央 会
上 村 建 設 (株)	(医) 成 晴 会 堤 病 院	福 岡 県 遊 技 業 協 同 組 合
(株) お お す み 制 服	高 木 印 刷 社	(一社) 福岡県労働者福祉協議会
大野城ライオンズクラブ	(株) 瀬 利 宗 助 商 店	(社福) 福 岡 コ ロ ニ ー
粕 屋 殖 産 (株)	(株) 千 鳥 饅 頭 総 本 舗	富 士 火 災 海 上 保 険 (株)
嘉穂無線ホールディングス(株)	東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 (株)	(学) 藤 川 学 園
(株) 環 境 開 発	(株) 西 日 本 新 聞 印 刷	(株) 淵 上 フ ァ イ ン ズ
(公) キ ャ メ ル	(株) 西 日 本 新 聞 ビ ル デ ィ ン グ	(株) フ ラ ワ ー ビ デ オ
苅 田 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ	(一社) 日本アミューズメント産業協会	(株) 丸 信
キ ュ ー サ イ (株)	福岡県本部	三 井 松 島 ホ ー ル デ ィ ン グ ス (株)
(一社) 九州学士会福岡支部	日本映像ソフト制作・販売倫理機構	(株) ミ ナ ミ 商 事
久 留 米 商 工 会 議 所	(株) 八 ち ゃ ん 堂	明 治 安 田 生 命 保 険 相 互 会 社
(医) 光 風 会 宗 像 病 院	(株) ヒ ュ ー リ ス ア カ デ ミ ー	(株) 百 田 工 務 店

個人賛助会員の皆様

青木 毅	上村 育也	越智 康久	古賀 敏彦	杉原 敏子	中島 貴美子	野口 和恵	福澤 信義	松本 義明	山田 和子
青野 隆子	牛島 昌哉	落石 藤隆	古賀 祐三	鈴木 康敏	中島 俊介	則光 茂雄	藤岡ひとみ	松本 好成	山田 貴文
赤尾浩太郎	内山 慶子	小野 剛史	古園井広記	陶山 正徳	中島 達朗	葉玉 博幸	藤田 孝子	三島 正浩	山田 憲勝
赤星 満子	梅木 聡子	戒田 協枝	児玉 弘	関 好孝	中島 利男	花田 拓	藤田 直子	満生充一郎	山田 幸美
秋山憲一郎	江川 洋	柿本 憲治	小林 祥彦	副島 紀身	中嶋 俊子	花田 真雄	藤田 信治	光延 時江	山根 千里
秋吉 幸二	江崎 恵子	陰山 博	小林 孝行	泊 武人	中嶋 博之	馬場 京子	藤津権三郎	三苦 智恵	横溝彌太郎
浅野 翔太	江崎美津子	笠木 一夫	小宮 董	大安 弘薫	長野 一江	馬場 忠久	藤本 晶子	南 巧	横山 繁利
阿多 一信	江崎 峰子	笠原 高司	小山雅千子	高橋 宏	長野 繁蜜	早川 良子	藤本 廣子	南 博	吉里 光世
穴見 英三	大内マツノ	香月 均	是枝 高司	竹井 章	長野 士郎	林 初代	藤山 泰三	宮永登志男	吉田 壽一
新井 潤	小串 保子	加藤 重敏	河野 達海	竹田 芳朗	長野 春奈	林 賢太郎	淵上 孝	見雪 和之	米倉 秀之
新井 洋子	大澤 良一	金澤 克朋	権現 昭二	竹永 悟	中原あや子	原 明義	不動 勝義	牟田 敏雄	米倉 正廣
井浦 蘭子	大島 勇夫	金子 博	佐藤 和久	田籠 重利	中原 憲幸	原 桂子	船越 章夫	牟田利加子	力丸 敏光
伊折 千秋	太田 強	樺島 篤	佐藤 俊之	田代 強一	中村香代子	原口 庄塑	古川 雅子	村上 信子	吉田 正宇
石川 治夫	大西 潤平	樺島 義幸	芝 奈美	田代 保博	中村 清	稗田 慶子	戸次 光生	村田 浩	吉留 節子
石橋 具視	大庭 奈名	神谷 龍治	芝 義勝	田中 信	中村 征一	東 久恵	別府 隆文	村田 洋平	吉野 利子
伊東 清寛	大橋 拾子	菊次 和夫	下茂野 寛	田中 一弘	中村 治幸	久門 尚基	堀家 克巳	村山真知子	吉原 陽子
伊東 望	大原 始	城戸 徳郎	城 裕介	田中 浩治	中村 睦子	久下 正俊	真子 太	本園 明	
井上 高顕	大曲 昭恵	具志 道次	庄司 真美	田中 祐二	中村 良洋	秀 ハツエ	増田美智代	森 博子	
井上 俊治	大群 拓也	熊谷 博孝	白土 聖司	田和 昭壽	滑石 隆紹	兵頭 正俊	松石 量則	守田 栄三	
猪瀬 正典	大藪 和子	熊野 君男	末崎 牧	津上 正幸	灘波 千明	平田 美子	松枝 米洋	森永 武彦	
入江 智子	岡松 直照	熊本 幸雄	末田 金次	辻村 哲弥	灘波 英次	平野 学	松岡 久代	森永 泰雄	
岩村 幸二	岡村 憲人	倉富 昭正	末次 威生	手島 道子	西岡 辰祐	平野 真規	松隈 秀隆	八木 信次	
因 征四郎	奥 久志	厨 元博	末松 六則	徳永 文晤	西山 隆	深見 健児	松本 美香	安武 憲明	
上野 一成	尾座本宜一	古賀 聡子	須貝由美子	中島 浩	野上 明倫	福井 悦子	松本 洋子	彌永九州男	

事務局だより

主な行事(平成30年11月26日～平成31年3月19日)

- 12月 1日(土)～2日(日) 青連協青年リーダー研修 (国立山口徳地)
2日(日) 「異年齢交流で育てー青少年(育成キャンブ)」報告会
13日(木) 役員・顧問・専門部会員合同会議
20日(木) 県青少年育成県民の集い実行委員会 御用納め
28日(金) 御用納め

- 平成31年
1月 4日(金) 仕事始め
11日(金) 第12回広報部会(以降、2/12・25、3/6・15)
14日(月) 「家庭の日」「オアシス運動」最優秀賞表彰式(以降20日まで展示)
20日(日) 第5回健全育成部会
22日(火) 家庭部会
23日(水) 青連協常任委員会(以降、2/22、3/25)
25日(金) 広報部会「NPOいるかねっと」取材

- 2月 1日(金)～8日(金) 県庁ロビー「家庭の日」「オアシス運動」最優秀作品等展示
6日(木) 乳幼児教育研修会
21日(木) 県民マラソン大会事務局会議
3月 16日(土)～17日(日) 青連協青年リーダー養成事業
18日(月) 第3回理事会
19日(火) 県民マラソン大会実行委員会
福岡県地域婦人会連絡協議会(福岡市)

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。災害時には「災害ボランティアセンター」や運営にも役立ちます。

この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年育成考

「子どもは未来の宝 地域で育てる意識が大切」



那珂川市青少年育成市民会議 理事・広報部会長 荒木伸一

近年は、共働きの家庭が多く、家事や育児も家族で分担して行う家庭が多い。ご時世、子育ては地域の協力が不可欠だと実感しています。私は小学校PTAの本部役員をさせていた...

那珂川市では市内の全小中学校で開催される新入生保護者説明会に約30分時間をいただき、講師による「親講座」を開催しています。那珂川市青少年育成市民会議主催で今年で8年目を迎えました。

ています。

また、年2回発行している広報誌「あおぞら」では、親講座等の講演内容を掲載し、全戸配布することで市民への意識啓発を図っています。スマートフォンやゲーム機等のメディアの普及で、子どもを取り巻く環境は大きく変化しましたが、安易な気持ちで手を出したことが、後に取り返しのつかない大きな問題になってしまいうこともあります。

子どもは大人の姿をしつかり見えます。子ども以上にメディアに流されやすい大人は、そのことを自覚し、子どもに接していくことが重要であると考えます。地域で育てるという意識が大切です。自分が模範の大人になれるよう、その姿をもって示して参りたいと思います。

編集後記

日本は先進国の中で「貧困率」が高い国の一つと言われている。▼貧困と言っても衣食住に困る「絶対的貧困」と社会全体から見ると貧困に属する「相対的貧困」がある。▼日本は当然後者であるため社会全体の意識として深刻に受け止められていない。▼子どもの6～7人に一人が貧困であり、片親家庭の半分以上が貧困と言われている。▼今回の本紙の特集として子ども達の貧困や高齢者の生活支援を地域全体の問題として自治会ぐるみで取り組んでいる「NPO法人いるかねっと」の活動を紹介します。▼また、「さわやかマラソン」、「乳幼児教育研修会」等の恒例行事も掲載。▼多くの方に読んでいただき感想やご意見があればお寄せいただきたい。▼今後の本紙編集に活かさせていただきます。 県民会議広報部会長 馬場 京子

広報紙203号の訂正とお詫び

2018年11月15日発行の「若い仲間」203号において、7Pの優秀賞者名の作文の部、柳川市立両開小学校3年生「池松朋生」と間違っって掲載しています。正しくは「池末朋生」でした。ご本人をはじめ、関係者の方々に心よりお詫び申し上げます。

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動をしています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話(092-643-6001)をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

- 個人 1口 1,000円
法人又は団体 1口 15,000円
特別賛助会員 1口 50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。
西日本シティ銀行千代町支店(普通預金) 3053033
福岡銀行県庁内支店(普通預金) 526475
筑邦銀行福岡営業部(普通預金) 1597091
福岡中央銀行本店(普通預金) 1030569
ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057

